



株式会社セブン&アイ・ホールディングス
2013年2月期 第2四半期決算説明会

2012年10月5日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス



2013年2月期 第2四半期実績

連結決算概要

営業利益はほぼ前期並みを確保、純利益は特別損失の減少により大幅増益

	13/2期 第2四半期				前期増減の主な要因
	金額	前期比	前期増減	計画差異	
グループ売上*	42,011億円	105.6%	+2,237億円	+11億円	SEJとSEIのチェーン全店売上高の伸長が寄与
営業収益	24,506億円	104.0%	+934億円	▲293億円	SEJとSEIの営業総収入が伸長
営業利益	1,471億円	98.0%	▲29億円	▲73億円	CVS事業は増益だったものの、スーパーストア事業が大幅減益
四半期純利益	669億円	126.8%	+141億円	▲70億円	前年2Qの特別損失 災害損失:234億円 資産除去債務:225億円

*グループ売上:セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上高を含めた数値

 セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

1

事業セグメント別営業利益

コンビニエンスストア事業は順調に増益、スーパーストア事業は震災反動で減益

	13/2期 第2四半期			増減の主な要因
	金額	前期比	前期増減	
コンビニエンスストア	1,165億円	106.1%	+66億円	SEJ、SEI(ドルベース)ともに過去最高益を達成
スーパーストア	92億円	44.0%	▲117億円	前年震災に伴う需要増加の反動と、2Qの天候要因
百貨店	12億円	58.1%	▲9億円	主に2Qにおける天候要因
フードサービス	4億円	145.2%	+1億円	—
金融関連	185億円	114.1%	+23億円	カード事業が好調に推移
その他	20億円	178.4%	+8億円	—

 セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

2

電気料値上げの状況

● 連結および主要事業会社の電気料

新店等を除く増加は+23億円でほぼ計画通り

※年間見込み 値上げ:+120億円、削減:▲60億円

- セブン-イレブン・ジャパンでは、値上げ分をLED等による省エネ行為で吸収（増加は店舗増と什器導入に伴うもの）
- その他各社もLED等による電気料削減行為を実施

上期実績

	金額	前期増減			
連結	478億円	+51億円		値上げによる増加	+39億円
セブン-イレブン・ジャパン	178億円	+22億円		LED等による削減	▲16億円
イトーヨーカ堂	98億円	+13億円		新店等に伴う増加	+28億円
ヨークベニマル	22億円	+3億円			
そごう・西武	34億円	+3億円			
その他	143億円	+8億円			



2013年2月期 計画

連結業績計画

上期の実績を踏まえ、通期の営業利益計画を3,080億円に修正

	13/2期計画(10/4時点)			13/2期計画(4/5時点)	
	金額	前期比	前期増減	金額	前期比
グループ売上*	85,300億円	106.0%	+4,818億円	85,500億円	106.2%
営業収益	50,300億円	105.1%	+2,436億円	50,600億円	105.7%
営業利益	3,080億円	105.5%	+159億円	3,150億円	107.9%
当期純利益	1,430億円	110.1%	+131億円	1,550億円	119.4%

*グループ売上:セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.における
チェーン全店売上高を含めた数値



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

事業セグメント別営業利益計画

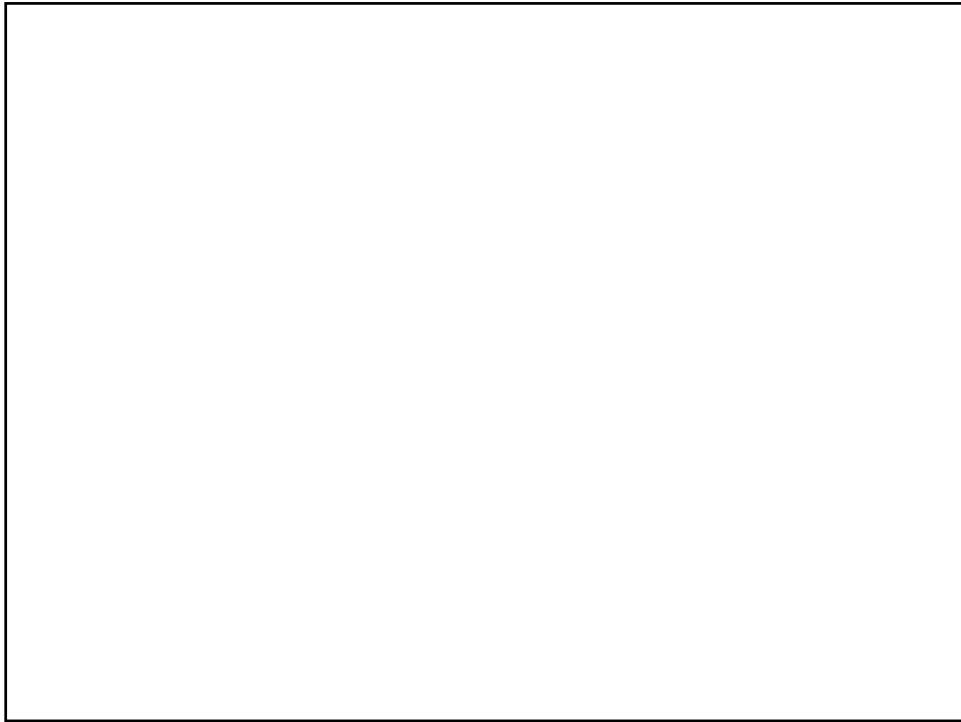
上期の実績を踏まえ、セグメント別営業利益計画を修正

	13/2期計画(10/4時点)			13/2期計画(4/5時点)	
	金額	前期比	前期増減	金額	前期比
コンビニエンスストア	2,316億円	107.9%	+169億円	2,289億円	106.6%
スーパーストア	258億円	79.6%	▲66億円	350億円	107.9%
百貨店	118億円	118.6%	+18億円	129億円	129.7%
フードサービス	11億円	—	+11億円	13億円	—
金融関連	356億円	105.4%	+18億円	356億円	105.4%
その他	36億円	156.2%	+12億円	28億円	121.5%



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

5



主要事業会社の状況

セブン-イレブン・ジャパン

2Q実績

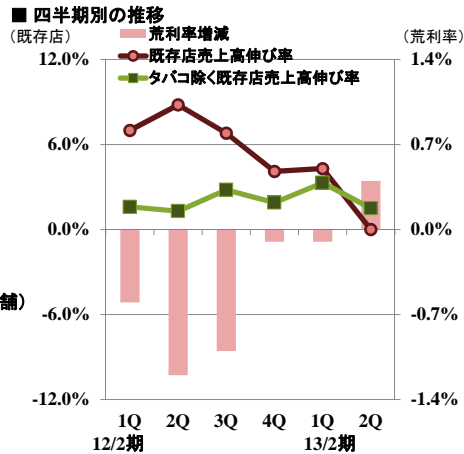


既存店投資の効果もあり売上が好調に推移し、過去最高益を達成

	2Q実績	前期比
営業利益	1,000億円	102.7% +26億円
既存店売上高伸び率	+2.0%	
商品荒利率	30.0%	+0.2%

概況

- 上期として過去最高の728店舗の出店(純増数:+557店舗)
- 既存店売上は、政策的に強化しているデイリー商品や『セブンプレミアム』の好調により伸長継続
- 販管費は加盟店支援強化に加え、省エネ設備の導入、チルドケース等の前倒し導入もあり計画超過



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

6

セブン-イレブン・ジャパン

通期計画



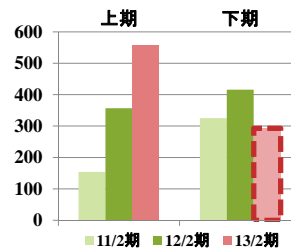
営業利益は据え置きも、上期実績を踏まえ、営業指標を見直し

	10/4時点計画	4/5時点計画
営業利益	1,950億円(前比106.5%)	1,950億円(前比106.5%)
既存店売上高伸び率	+1.7%	+1.0%
商品荒利率	30.0%(前比+0.3%)	30.1%(前比+0.4%)
店舗純増数	+850店舗	+750店舗

● 下期の重点行為

出店強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去最高の1,350店舗の出店 ● 強固な店舗開発体制による質の高い出店
営業力強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 圧倒的な差別化商品の開発 ● アイランド型什器、壁面チルドケース増設の効果拡大 ● 基本商品の品揃えを強化 ● 荒利率の改善 ● サービス強化(商品お届けサービス等)

■ 店舗純増の推移



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

7-Eleven, Inc.

2Q実績

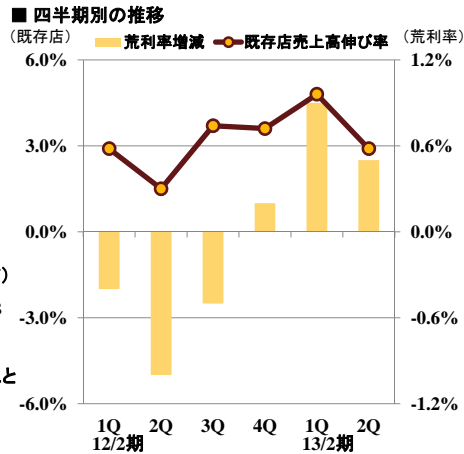


主力商品の販売好調と荒利率改善により大幅増益となり、ドルベースで過去最高益を達成

	2Q実績	前期比
営業利益	177億円	135.9% +46億円
米国既存店商品売上高伸び率(ドルベース)	+3.7%	
商品荒利率	35.3%	+0.7%

概況

- 事業取得等を含め294店舗の出店(純増数:+254店舗)
- 商品売上は、ノンアルコール飲料やファストフード、PB商品『セブンセレクト』などが牽引して高伸長を継続
- 荒利率は上記の高荒利率商品の販売が好調だったことにより、大幅改善
- ガソリンは単価と販売量の伸長により荒利額が増加



7-Eleven, Inc.

通期計画



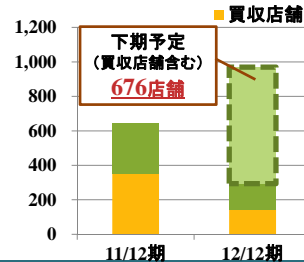
上期実績を踏まえ、営業利益を400億円に上方修正

	10/4時点計画	4/5時点計画
営業利益	400億円(前比122.2%)	363億円(前比110.9%)
米国既存店商品売上高伸び率	+2.7%	+2.7%
商品荒利率	35.3%(前比+0.6%)	34.8%(前比+0.1%)

● 下期の重点行為

出店強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業取得等と新規出店による拡大 ⇒年間出店計画を680店舗から970店舗に上方修正 ● FC化および買収店舗の7-Eleven化の推進
品揃え強化	<ul style="list-style-type: none"> ● FF商品の開発強化 ● PB商品『セブンセレクト』の開発強化

■ 出店数の推移



イトーヨーカ堂

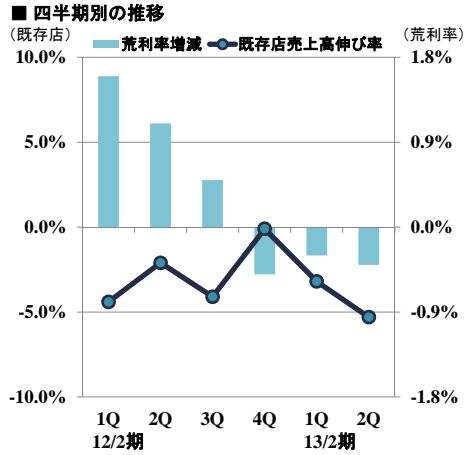
2Q実績

震災反動と2Qの天候要因により減益

	2Q実績	前期比
営業利益	7億円	12.0% ▲53億円
既存店売上高伸び率	▲4.3%	
商品荒利率	29.5%	▲0.4%

概況

- 売上は、天候要因や震災反動によりマイナス
- 荒利率は、衣料は改善したものの、前年震災後の特売抑制の反動等により住居、食品がマイナス
- 販管費は、電気料が増加したものの、人件費や地代家賃を中心とした経費削減により抑制



イトーヨーカ堂

通期計画

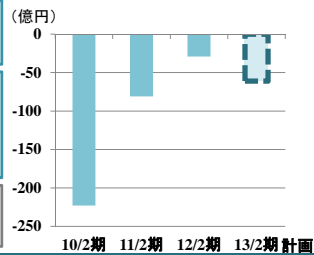
上期の実績を踏まえ、営業利益を70億円へ修正

	10/4時点計画	4/5時点計画
営業利益	70億円 (前差▲35億円)	135億円 (前差+29億円)
既存店売上高伸び率	▲3.1%	▲1.5%
商品荒利率	29.7% (前比±0.0%)	30.2% (前比+0.5%)

● 下期の重点行為

MD改革の継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 衣料: 4核PB商品の強化 ● 食品: 生鮮強化、7プレミアムの拡大
既存店活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 接客サービスのレベル向上: パートの戦力化 ● 店主導の営業体制の強化 ● テナント強化 ● 食品館の店舗フォーマットの確立
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人件費の見直し: 生産性の向上 ◆ 販促費の見直し: Webチラシの活用

■ 販管費増減



ヨークベニマル

2Q実績

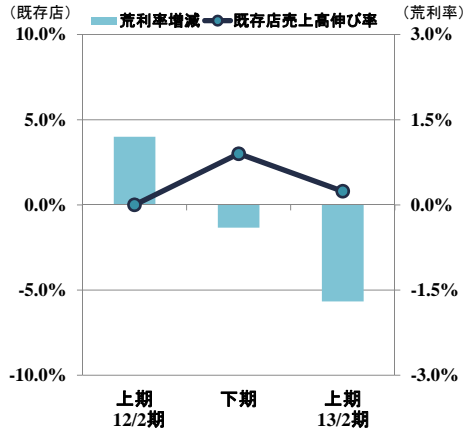
前年震災の反動により、荒利率が悪化

	2Q実績	前期比
営業利益	58億円	60.9% ▲37億円
既存店売上高伸び率	+0.8%	
商品荒利率	25.6%	▲1.7%
営業利益 (ライフフーズ込み)*	80億円	69.6% ▲35億円

概況

- 既存店売上は、一昨年比で+0.8%
- 荒利率は、前年震災後の需要増加に伴い大幅改善したことに對して当上期は▲1.7%
(一昨年比では▲0.5%)
- 前年、震災による営業休止期間中の固定費の特別損失への振替は16億円

■上・下期別の推移



*ライフフーズは、ヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売している子会社

セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

12

ヨークベニマル

通期計画

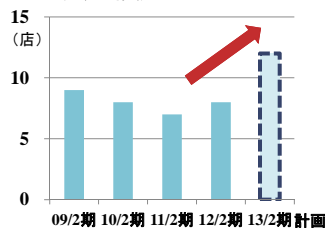
ライフフーズ含む営業利益は当初計画どおりの153億円

	10/4時点計画	4/5時点計画
営業利益(ライフフーズ含む)	153億円(前比83.1%)	153億円(前比83.1%)
※ヨークベニマル営業利益	120億円(前比80.2%)	124億円(前比82.9%)
既存店売上高伸び率	+2.0%	+2.0%
商品荒利率	26.6%(前比▲0.4%)	26.6%(前比▲0.4%)

●下期の重点行為

荒利額の最大化	<ul style="list-style-type: none"> 7プレミアムの強化 生鮮食品とデリカテッセンの強化
店舗運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上によるコスト構造の強化 ⇒価格競争に対応できるコスト構造
出店強化	<ul style="list-style-type: none"> 小商圏型店舗フォーマットの確立

■出店数の推移



セブン&アイ HLDGS.

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

そごう・西武

2Q実績

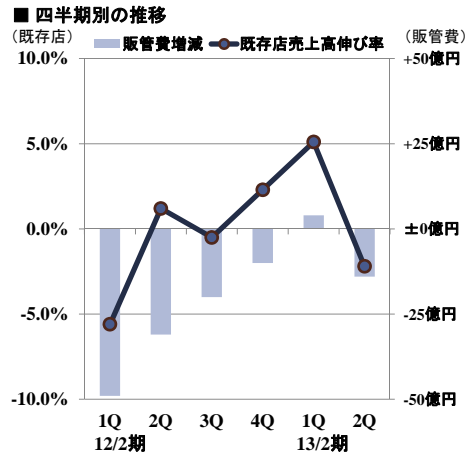


主に2Qにおける天候要因による既存店売上と荒利率のマイナスにより減益

	2Q実績	前期比
営業利益	22億円	72.3% ▲8億円
既存店売上高伸び率	+1.3%	
商品荒利率	25.1%	▲0.1%

概況

- 既存店売上は、2Qの天候要因はあったものの、1Qにおける前年震災の反動によりプラス
- 荒利率は2Qの天候要因によりマイナス
- 前年、震災による営業休止期間中の固定費の特別損失への振替は13億円



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

そごう・西武

通期計画



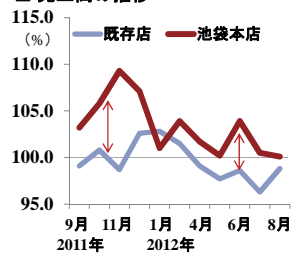
上期の実績を踏まえ、営業利益は125億円へ修正

	10/4時点計画	4/5時点計画
営業利益	125億円 (前比112.0%)	140億円 (前比125.5%)
既存店売上高伸び率	+2.6%	+4.8%
商品荒利率	25.2% (前比+0.1%)	25.2% (前比+0.1%)

● 下期の重点行為

基幹店の強化	<ul style="list-style-type: none"> 池袋本店の成功事例の波及 ⇒そごう横浜店改装 生鮮食品とデリカテッセンの強化
衣料品の強化	<ul style="list-style-type: none"> 自主MDの拡大 (自主開発商品、自主編集売場) 新情報システムの活用: 単品管理の推進
資産効率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 不採算店舗の閉鎖 ⇒西武沼津、そごう呉 (2013年1月末予定)

■ 売上高の推移*



* 2012年3月の売上は震災の影響が大きいため非表示



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

15

本資料には、当社の本資料発表日時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。